

経営所得安定対策の交付金に係る営農計画書

年産

〇〇地域センター長 殿
〇〇農政局長
北海道農政事務所長
内閣府沖縄総合事務局長
平成 年産における経営所得安定対策の交付金に係る対象作物の作付面積を申告します。

申請年月日

作成者 フリガナ 氏名又は法人、組織名
住所 (〒 - )
電話番号 FAX
経営形態 個人 集落営農(構成員) 法人

Table with 5 columns: 対象作物, 生産数量目標(kg), 単収(kg/10a), 作付面積(換算値)(㎡), 設定確認種. Rows include 主食用水稻, 小麦, 二条大麦, 六条大麦, はたか麦, 大豆, そば, なたね.

Table with 5 columns: 対象作物, 生産数量目標(kg), 単収(kg/10a), 作付面積(換算値)(㎡), 設定確認種. Rows include てん菜, 米粉原料用ばれいしよ.

農業共済加入状況(含加入予定)記入欄
※加入している又は加入予定の場合は「○」を記入
農作物共済 畑作物共済

新産野菜茶・加工用米・備蓄米記入欄
担当者記入欄
区分 出荷・販売契約数量 生産予定面積 作付調整後の出荷・販売契約数量 出荷・販売数量 備考

農地の利用計画記入欄
Table with 15 columns: 農地の番号, 地名・地番・大字・字・集落地番, 交付対象農地区分, 作期, 面積(本地面積), 作物作付面積, 作物名(注2), 耕畜連携助成取組の種類(注3), 開始年度, 区分, 地権者(権原を有する者)住所・氏名, 改善計画の達成予定年, 植栽造成年月, 転換畑当年度, 新規開田年月, 備考

(注1)一つのほ場で二毛作を行う場合には、ほ場欄を二段書きすることとし、「作期間」において、主食用水稻(一般米、醸造用玄米、種子生産ほ場)又は転作として作付した作物は「1」、二毛作として作付した作物は「2」と表記することによって区別する。
(注2)「作物名欄」には、主食用水稻(一般米、醸造用玄米、種子用米生産ほ場)、麦(小麦、二条大麦、六条大麦、はたか麦、ビール用麦、種子用麦)、てん菜、てん粉原料用ばれいしよ(専用品種、その他)、なたね(油種用、その他)、そば、大豆(普通大豆、黒大豆、種子大豆)、飼料作物、米粉用米、飼料用米、WCS用稲、加工用米、野菜等の作物名のほか、その作付地がある場合はその状態(調整水田、自己資金管理、土地改良通年施行等)をすべて当該ほ場について記入する。
(注3)耕畜連携助成の取組の種類には、①わら利用・わら専用稲の生産及び飼料用米生産ほ場のわら利用の取組 ②水田放牧・水田における牛の放牧の取組 ③資源循環・飼料生産水田への堆肥散布の取組 の別を記入

<地域農業再生協議会担当者記入欄>
米の直接支払交付金関係
米の生産数量目標(作付面積換算値)の達成状況
Table with 6 columns: 生産数量目標(作付面積換算値)(A), 水稲作付面積①, 新産野菜茶等の取組計②=③+④+⑤, 主食用水稲作付面積(B)=①-②, 差し引く面積(A)-(B), 判定
Table with 4 columns: 一般米, 醸造用玄米, 種子生産ほ場面積, 水稲共済実働面積
水田活用の直接支払交付金関係(水田活用の直接支払交付金の対象農地のみ該当)
Table with 10 columns: 麦, 大豆, 飼料作物(除WCS用稲), そば, なたね, 加工用米
Table with 8 columns: WCS用稲, 米粉用米, 飼料用米, 備蓄米(産地資金)
(耕畜連携助成) (再生利用交付金)
Table with 4 columns: わら利用, 水田放牧, 資源循環, 平地, 条件不利地
<記入欄>